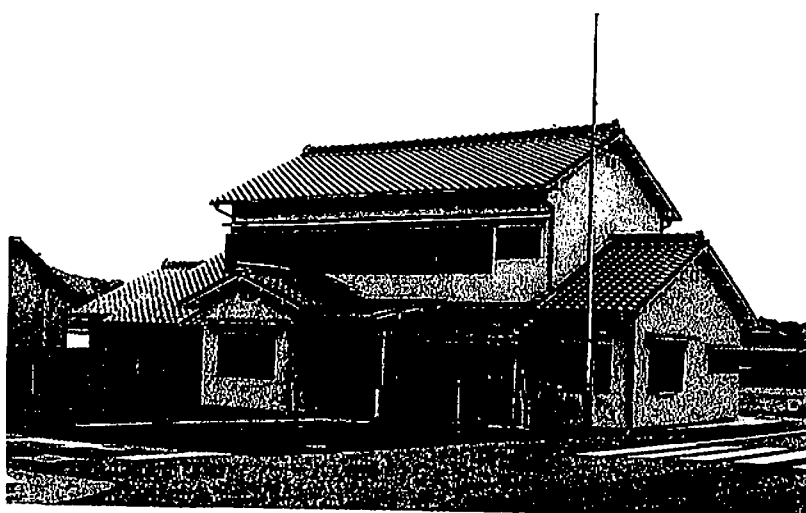


# 東二郎下里づくり計画



平成 1 2 年 6 月

東二郎下里づくり協議会

## 目 次

I	地区の現況と目標	
(1)	地区の現況 .....	1 ～ 2 ページ
(2)	地区の課題 .....	2
(3)	地区の整備目標及び方針 .....	2
II	里づくり計画	
1	農業振興計画	
(1)	生産基盤の整備 .....	3
(2)	地域の営農 .....	3
(3)	いちご部会活動の強化 .....	3
(4)	新たな観光果樹園の造成 .....	3
2	環境整備計画	
(1)	生活道路の整備 .....	4
(2)	駐車場の整備 .....	4
(3)	公会堂の整備 .....	4
(4)	下水道の整備 .....	4
(5)	コミュニティパーク及び太陽と緑の遊歩道の整備 .....	4
(6)	福祉・医療 .....	4
(7)	多目的用水池の建設 .....	4
(8)	地域づくり活動 .....	5
(9)	共同墓地の整備 .....	5
(10)	田園スポーツ公園への取り付け道路の要望 .....	5
(11)	道路の拡幅にむけての申し合わせ .....	5
3	土地利用計画	
(1)	農村用途区域の変更設定の希望 .....	5
(2)	個別的土地利用計画 活性化のための施設用地 .....	5
4	景観の保全及び形成に関する計画	
(1)	農村景観 .....	6
(2)	自然景観 .....	6
5	計画地区と市街地との交流に関する計画 .....	6

# 東二郎下里づくり計画

## I 地区の現況・課題・目標

### (1) 地区の現況

- ① 計画対象地区は、平成9年4月30日に設立（市認定平成10年5月13日）された別図の東二郎下里づくり協議会（北区有野町東二郎下集落）の区域とする。
- ② 有野川が地区を南北に貫き、東側は低い山を至て西宮市山口町・名来地区及び道場町平田地区と接し、北側は道場町日下部地区と、西側は八多町中地区と、南側は有野町東二郎上地区と接する。
- ③ 地区戸数38戸、うち農家戸数25戸（専業7戸、第一種兼業8戸、第二種兼業10戸）、農家人口114人、農地面積22.6haであり、農業用水は井堰1カ所、ため池12カ所を水源として利用している。
- ④ 地区内には大歳神社、布袋寺がある。
- ⑤ 他産業関連でレストラン系2カ所、資材置場系12カ所等の土地利用がある。
- ⑥ 当地区は、農業振興地域外の関係から、すでに幹線道路沿いに農地の壊廃、土地利用の混在が進行している。
- ⑦ 都市計画の線引き見直しにより、地域の一部(8.9ha、地権者16戸)が暫定市街化調整区域から市街化調整区域に変更され（平成10年7月31日告示）、共生ゾーン区域に編入された。（平成11年2月12日変更）
- ⑧ 交通網として、神戸電鉄三田線（「二郎駅」が地区内にある。）、主要地方道神戸三田線が地区内を通り、近隣には中国自動車道、山陽自動車道が通過し、（西宮北インターが近い。）交通の便には恵まれた地域である。
- ⑨ 有野におけるいちご栽培は、「二郎いちご」として北神観光農業の拠点となっている。「二郎いちご」は大正末期に試験栽培され、いちご狩りは、昭和27年頃に始まり、昭和59年には栽培面積8.3ha、入園者も28,000人を数えた（平成10年度では栽培農家39戸、栽培面積5.0ha、入園者も16,300人）。当地はこの中心地で13戸の熱心ないちご栽培農家がある。又、ジャム工場1カ所、直売所9カ所がある。
- ⑩ その他  
下水道の整備は、公共下水道接続型で大半が済んでいる。（有野川左岸は未了であるが日下部地区の区画整理事業の進捗と併せて計画がある。）

東二郎下地区の農業の概要 (農業センサス等)

	総世帯数 (戸)	総人口 (人)	専兼別農家数 (戸)				農家 人口 (人)	農業従事者数(男)			農業従事者数(女)		
			総農家数	専業	第1種 兼業	第2種 兼業		自家農業 のみ	自家農業 が主で、 兼業が従	自家農業 が従で、 兼業が主	自家農業 のみ	自家農業 が主で、 兼業が従	自家農業 が従で、 兼業が主
85年	二第 184	656	26	11	6	9	125	23	-	11	34	-	1
90年	二第 191	649	26	8	7	11	112	15	2	13	34	1	1
95年	二第 190	684	25	7	8	10	114	18	4	10	10	2	6

	経営耕地面積 (a)				主要作物別収穫面積 (a)				家畜飼育戸数・頭数			
	合計	田	畑	樹園地	稲	野菜	花	飼料 作物	乳用牛 戸数	乳用牛 頭数	肉用牛 戸数	肉用牛 頭数
85年	2,413	2,171	237	5	1,872	404	25	-	-	-	-	-
90年	2,259	2,221	36	2	1,723	339	36	67	-	-	-	-
95年	2,265	2,075	185	5	1,675	248	17	-	-	-	-	-

(2) 地区の課題

- ① 主要地方道神戸三田線沿線の秩序ある土地利用計画の策定
- ② 第2名神高速道路の建設(平成10年12月25日施行命令)に伴う神社、住居等の移転及び農地の減少への対応
- ③ 北神戸田園スポーツ公園のオープンに伴う神戸電鉄「二郎駅」及び道場八多地区特定土地地区画整理事業(日下部地区)の進捗に合わせた幹線道路への導入路の整備
- ④ これらの開発計画の進展に対応した地区整備のあり方の検討
- ⑤ 幹線道路からはずれた農地の利活用。特にいちご栽培の継続

(3) 地区の整備目標及び方針

当地区の地域活性化のためには、第2名神高速道路、北神戸田園スポーツ公園、道場八多地区特定土地地区画整理事業(日下部地区)等周辺開発計画を活かしたプランづくりが求められている。併せて、この地域を住みよい、誇りをもてる場所として育てることが必要であり、このため次の3項目を柱として計画を策定する。

- ① いちご狩りを核とした地域営農の高次化
- ② 周辺の開発計画と調和した快適居住空間の整備と機能的な地域整備の促進(生活道路・農道の整備)
- ③ 集落居住区域の新設を行うことにより居住環境の維持・改善等地区全体に望ましい形での土地利用計画の樹立

なお、第2名神高速道路の建設に伴う計画の変更については、今後具体化の中で計画をその都度変更するものとする。

## II 里づくり計画

### 1 農業振興計画

#### (1) 生産基盤の整備

地域全域が農振外地域であって、ほ場整備は実施されておらず今後も実施の見込みはない。このため、道に面しない農地も多く幹線沿いの農地の転用が進む中で今後の農業経営に苦慮しており、早急に農道整備を進める必要がある。

- ① 旧鉄道廃線敷の農道としての整備
- ② 第2名神高速道路の側道計画に併せた農道整備
- ③ 周辺開発に伴う道路整備に応じた農道整備

#### (2) 地域の営農

計画地域においては、古くから「二郎いちご」が栽培され、名声を博してきた。当面はこの継続が望めるが、第2名神高速道路の建設に伴い、農地が減少するので、現段階から残る農地の有効活用方策を樹立する。

- ① 農地の流動化を促進する。
- ② 作付けのブロックローテーション（いちごを主体に連作障害を回避するように、ほ場のローテーション化を図る。）
- ③ ハウス団地の形成（ハウスの更新時に観光立地を考慮して団地化する。）

#### (3) いちご部会活動の強化

- ① 育苗方法の改善による労力軽減と良苗安定生産（ポット育苗，ベンチ栽培の導入）
- ② 観光農業のサービス提供方法の改善（いちご+αとしてスイートコーン，切花等の導入やトイレ，休憩所，遊具等利便施設の設置を図る。）
- ③ 沿道直売方法の検討（現在は9カ所が，将来的には集約化を行う。）

#### (4) 新たな観光果樹園の造成

- ① 地区東部丘陵部の樹園地造成（柿，りんご等）
- ② 減反に対応した水田の樹園地化（ブルーベリー，ラズベリー，いちじく等）

## 2 環境整備計画

### (1) 生活道路の整備

地区内幹線道路の整備とこれに併せた自宅進入路及び集落内道路の改良策を検討する。

### (2) 駐車場の整備

① いちご狩り、いも掘り、市民農園に対応した第2名神高速道路高架下及び緩衝緑地帯をいちご狩り来園者用駐車場・市民公園等として有効活用し、地域の一体的振興に役立てるよう日本道路公団に要望する。

② 神戸電鉄「二郎駅」は、いちご狩りをはじめ、この春にオープンした田園スポーツ公園への最寄り駅となっているが、周辺道路は狭く駐車場の設備もないので、道路の拡幅・駐車場の整備を神戸市・神戸電鉄に要望する。

### (3) 公会堂の整備

安心コミュニティープラザ設置事業の補助を受けて整備を進め、平成12年4月10日竣工した。

### (4) 下水道の整備

大半が公共下水接続型で整備済みであり、残るのは有野川左岸であるが、道場町日下部の区画整理事業の進捗にあわせて早期に整備する。

### (5) コミュニティパーク及び太陽と緑の遊歩道の整備

周辺での交通量増加に伴う安心・安全な公園と、地区住民の交流の場の確保並びにハイキング道の整備（東山古墳群を含む。）

### (6) 福祉・医療

隣り集落に病院（恒生病院）がある。さらに市街化区域の有野町田尾寺周辺や岡場に各種医院がある。このため現在は、特に不便とは感じていないが、今後、地域社会の高齢化の進展等に伴う福祉施設ニーズへの対応を検討する。

### (7) 多目的用水池の建設

第2名神高速道路の高架下を活用して防火及び灌漑用水等に活用

(8) 地域づくり活動

大歳神社の秋祭り（神楽・獅子舞）は伝統的行事として伝承していく必要があるが、第2名神高速道路の建設に伴い移転を余儀なくされているので、地域の文化的中核施設として、周辺整備も含めて適地への移転・充実を日本道路公団に要望する。

(9) 共同墓地の整備

地区東部丘陵部にある共同墓地への進入道路が狭いので、拡幅策を検討する。

(10) 田園スポーツ公園への取り付け道路の整備を市に要望する。

(11) 道路の拡幅にむけての申し合わせ

道路の中心線から2mを確保できるよう家の建て替え、フェンス等のやり替え時に協力することを申し合わせする。

### 3 土地利用計画

(1) 農村用途区域の変更設定の希望

現在は農業保全区域と環境保全区域の2区分であるが、幹線道路沿いの農業保全区域から新たに集落居住区域（別図）に変更を希望する。

農業的土地利用	} 適正な配分と調和
当面の農業的土地利用	
都市的土地利用	

(2) 個別的土地利用計画

① 農業用施設用地（農舎・温室等）

② 農家住宅・分家住宅用地

③ 公共的施設用地

④ 活性化のための施設用地

- ・ 沿道直売及び観光農業用駐車場用地
- ・ ドライブイン、飲食店等の沿道サービス施設用地

#### 4 景観の保全及び形成に関する計画

##### (1) 農村景観

地区東側丘陵部を樹園地の造成によって地域特有の景観を作り出す。

##### (2) 自然景観

ビオトープを取り入れて河川の自然を回復させる。

〔注〕ビオトープ：安定した生活空間をもった「動植物の生息する空間」のこと。

限られた地域に、自然を復元することを指す。最近、土木や造園関係者の間で注目されており、都市部の河川整備などの際に、ビオトープをつくる動きが活発になっている。

#### 5 計画地区と市街化との交流に関する計画

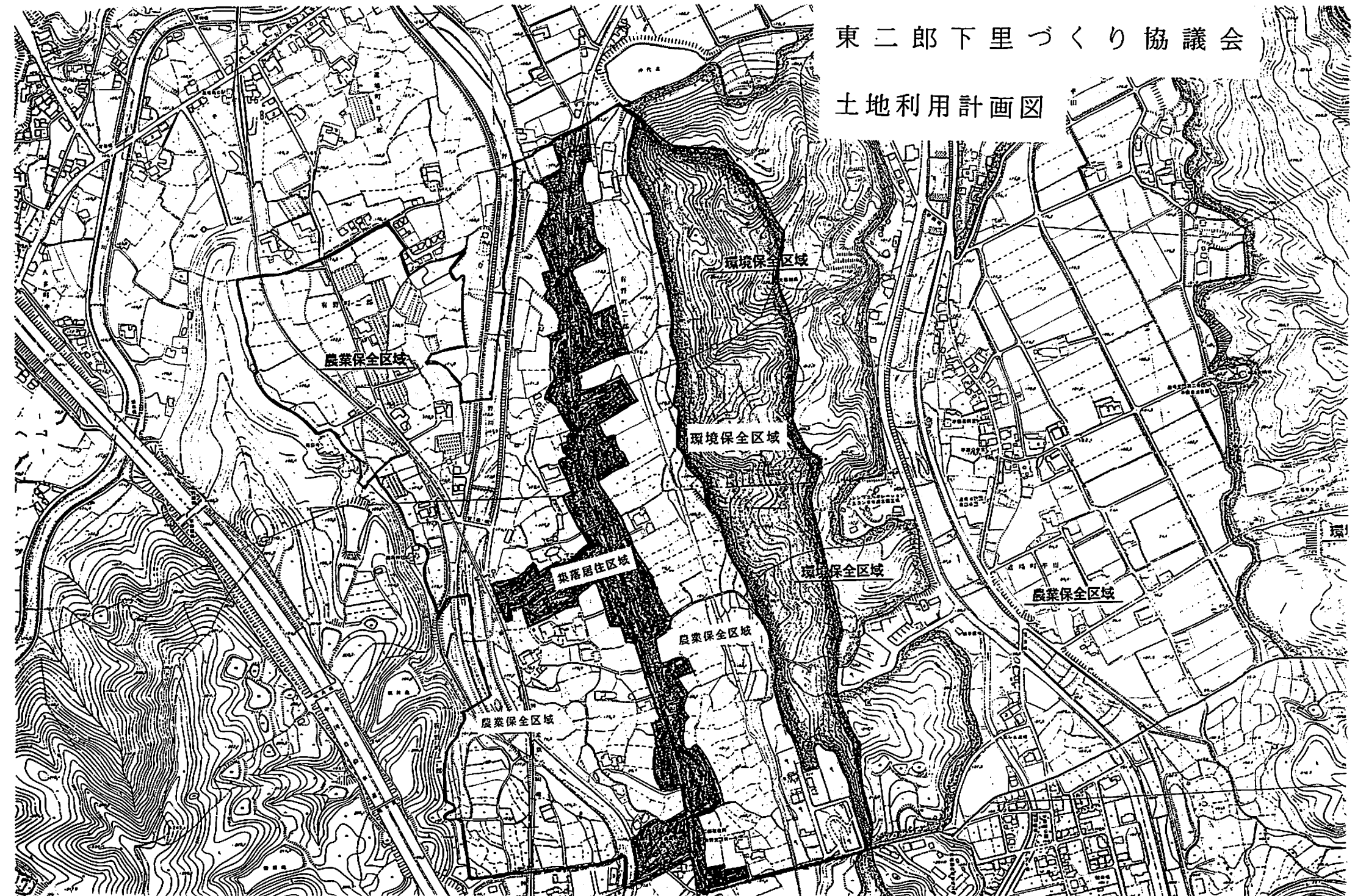
観光農業と付加価値づくり（観光農業の再編）を進める。

- ・ 服装の統一化 ⇒ ハッピー姿での販売
- ・ 直売所における「いちご苗の鉢植」の販売を検討する。
- ・ 観光いちごサミットの開催
- ・ いちご狩り＋αの実現
- ・ 河川の活用策として魚のつかみどり、バーベキュー、ホタル狩り等を検討する。

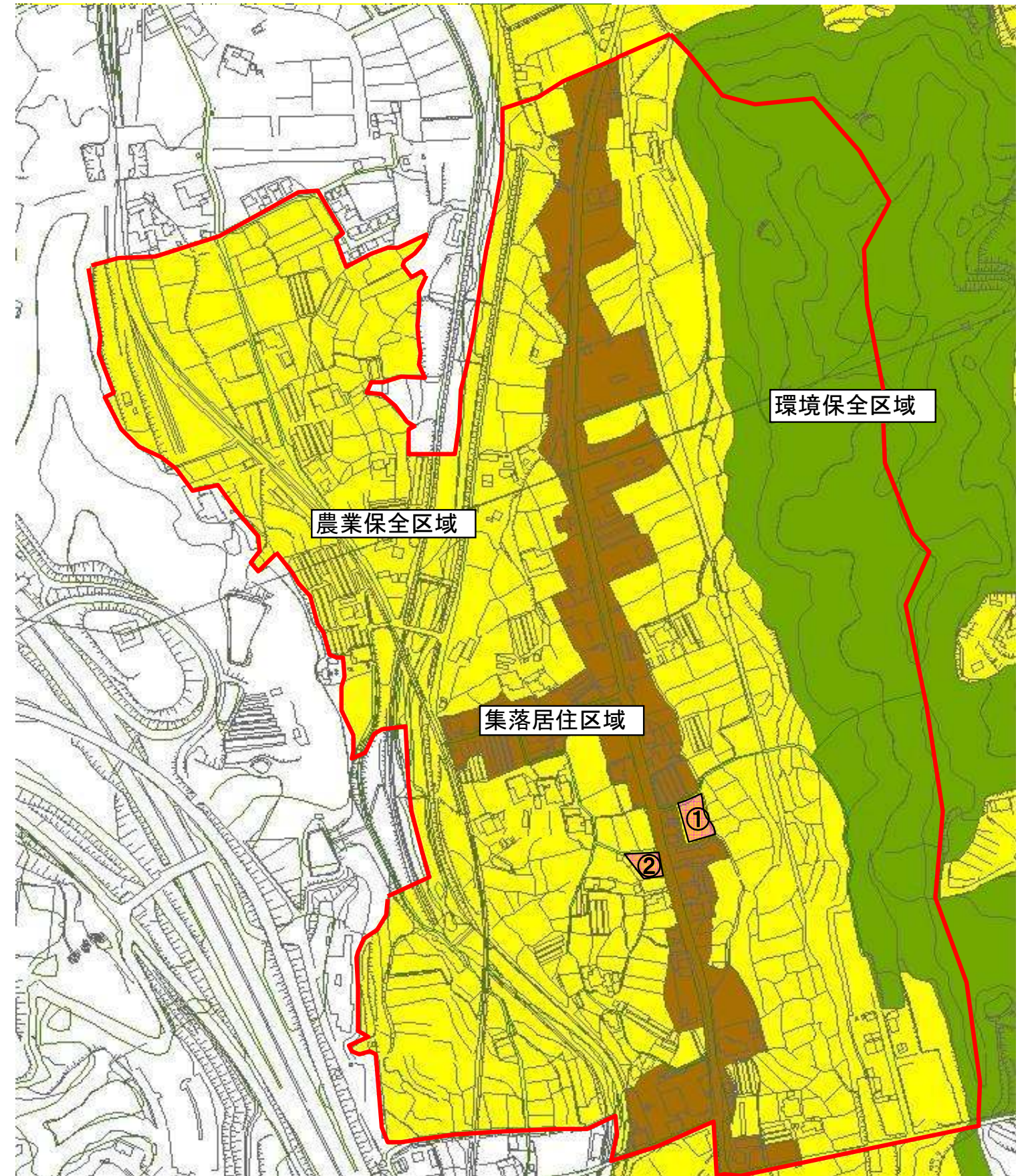


東二郎下里づくり協議会





土地利用計画図







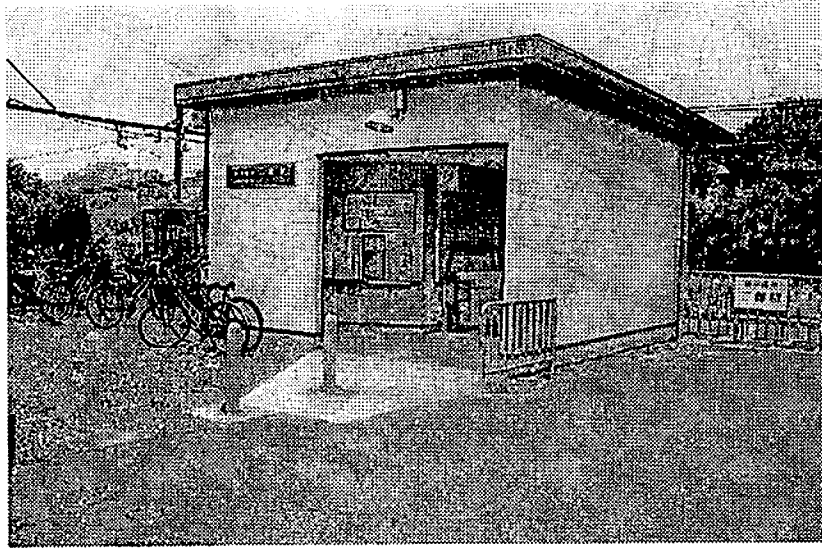
凡例

-  東二郎下里づくり協議会区域
-  環境保全区域
-  農業保全区域
-  集落居住区域

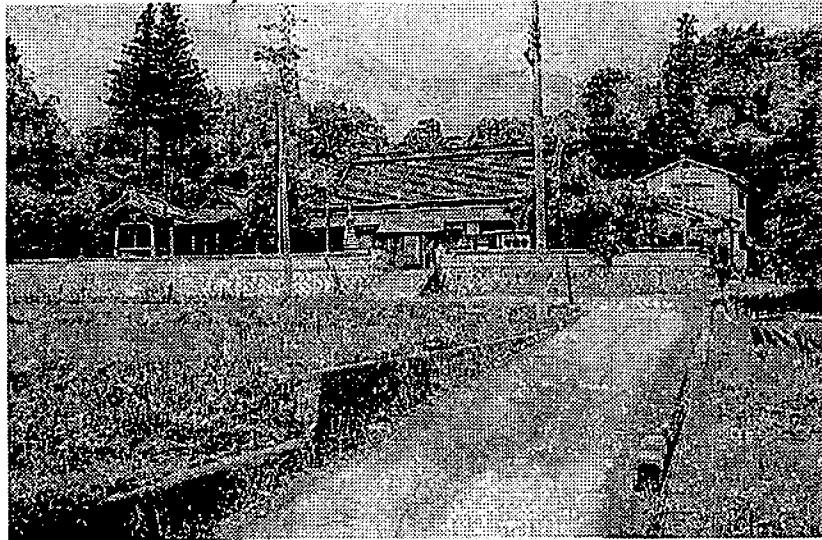
\* 土地利用計画

- ① 駐車場・資材置場 (H13.12)
- ② 駐車場・資材置場 (H22.7)

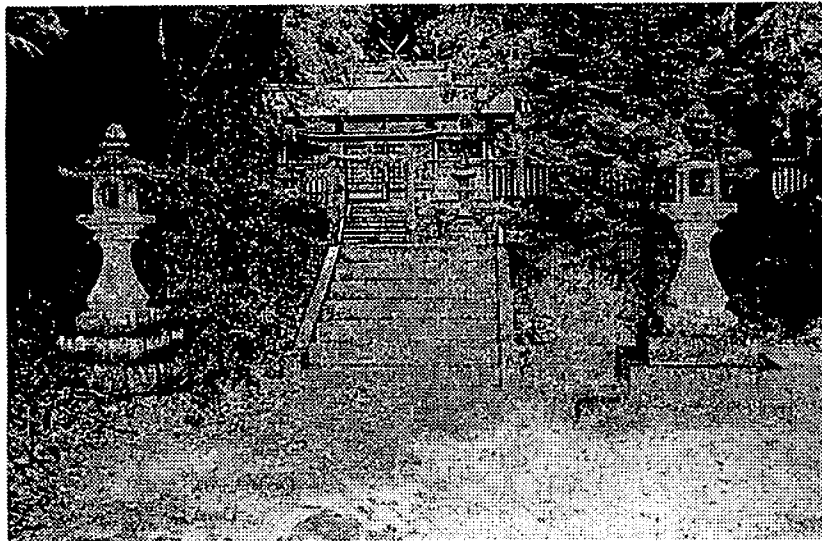




二郎駅



布袋寺



大歳神社

# 東二郎下里づくり計画策定活動経過

助言者：竹内 幹雄

年 月 日	実 施 内 容	参 集 者 等
平成10年7月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>里づくり計画策定に向けての事前調整会議</li> <li>集落の現状把握のため現地調査を実施</li> </ul>	協議会役員 自治会役員
平成10年8月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落の現状、課題の整理</li> <li>提言的講演</li> <li>東二郎下里づくりへのビジョンについて</li> </ul>	協議会役員他 自治会役員
平成10年11月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2名神高速道路関係について</li> <li>意向調査内容の検討</li> <li>実情調査図面の整理</li> </ul>	協議会役員 自治会役員
平成10年12月	意向調査の実施	全世帯
平成11年1月12日	意向調査の集計結果の提示	全世帯
平成11年7月28日	有野3協議会による調整会 <ul style="list-style-type: none"> <li>各協議会の活動状況報告</li> <li>里づくり計画の策定について</li> </ul>	3協議会役員
平成11年12月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落居住区域の設定希望アンケートの実施</li> </ul>	全世帯
平成12年1月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落居住区域の設定希望のとりまとめ</li> </ul>	
平成12年2月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>里づくり計画（素案）の検討</li> </ul>	協議会役員
平成12年6月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>里づくり計画（素案）の検討</li> </ul>	協議会役員
平成12年7月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>里づくり協議会総会</li> <li>「里づくり計画の決定」</li> </ul>	里づくり協議会役員他

# 「東二郎下里づくり」へのビジョン

## 1 周辺整備 ⇨所得の向上、生活環境の充実、人情の増幅

人が住みたい環境＝所得＋生活環境＋人情

①所得→専業農家、兼業農家、地域住民の雇用機会

②生活環境→道路の拡幅と東西幹線道路、街灯、コミュニティ施設の充実、自動車の騒音（公害）対策等アメニティの追求、花いっぱい運動（駅、公民館周辺等）、里山に桜・梅・果樹等で景観

③人情→お互いの助け合い（一人暮らしの援助等）や地域内の交流を図る

## 2 生産基盤整備 ⇨農業的土地利用、当面の農業的土地利用、都市的土地利用等の区域の設定と生産性向上のための基盤整備

①経営要素の結合変化→60年代は労働、70年代は機械、80年代は土地、90年代は経営統合

②生産形態の分化→土地利用作物の集団的経営（効率性、土地負担の軽減、多角的経営の展開）

企業集約的経営（都市近郊型、施設型、技術型）

サービス型経営（消費者ニーズ、農業の3次化、二郎の商品化、アグリビジネス）

保養的・生活農業（世代別、楽農、趣味と実益、加工）

③農業者の意識改革→人間関係の修復、構造変化の確認、意識統一、合意形成組織、価値観の統一

「経済の効率化＋伝統的価値観＝集落営農組織」

## 3 観光農業と付加価値づくり ⇨観光農業の再編

①いちごを中心に周年農業観光→駐車場・トイレ・休憩所等を4カ所、育苗兼観光農業施設、体験農園みかん、なし、りんご、くり、柿、いちじく、キウイ、すもも、ぶどう、しいたけ、さつまいも、とまと、トモロコシ等

②地域資源の総合化と発想の転換→トータルデザインの必要 遠いサインづくり、二郎エリアの「らしさ」の確立、テーマ性、イメージ、時代の転換、顧客の創造

③付加価値づくり→消費者ニーズ（モノ＋サービス＝コト）サービスのノウハウ向上が付加価値認知（知ってもらう）、理解（わかってもらう）、共感（好きになる）

## 4 推進組織

①以上の内容がスムーズに進むように、いろんな推進組織を結成する

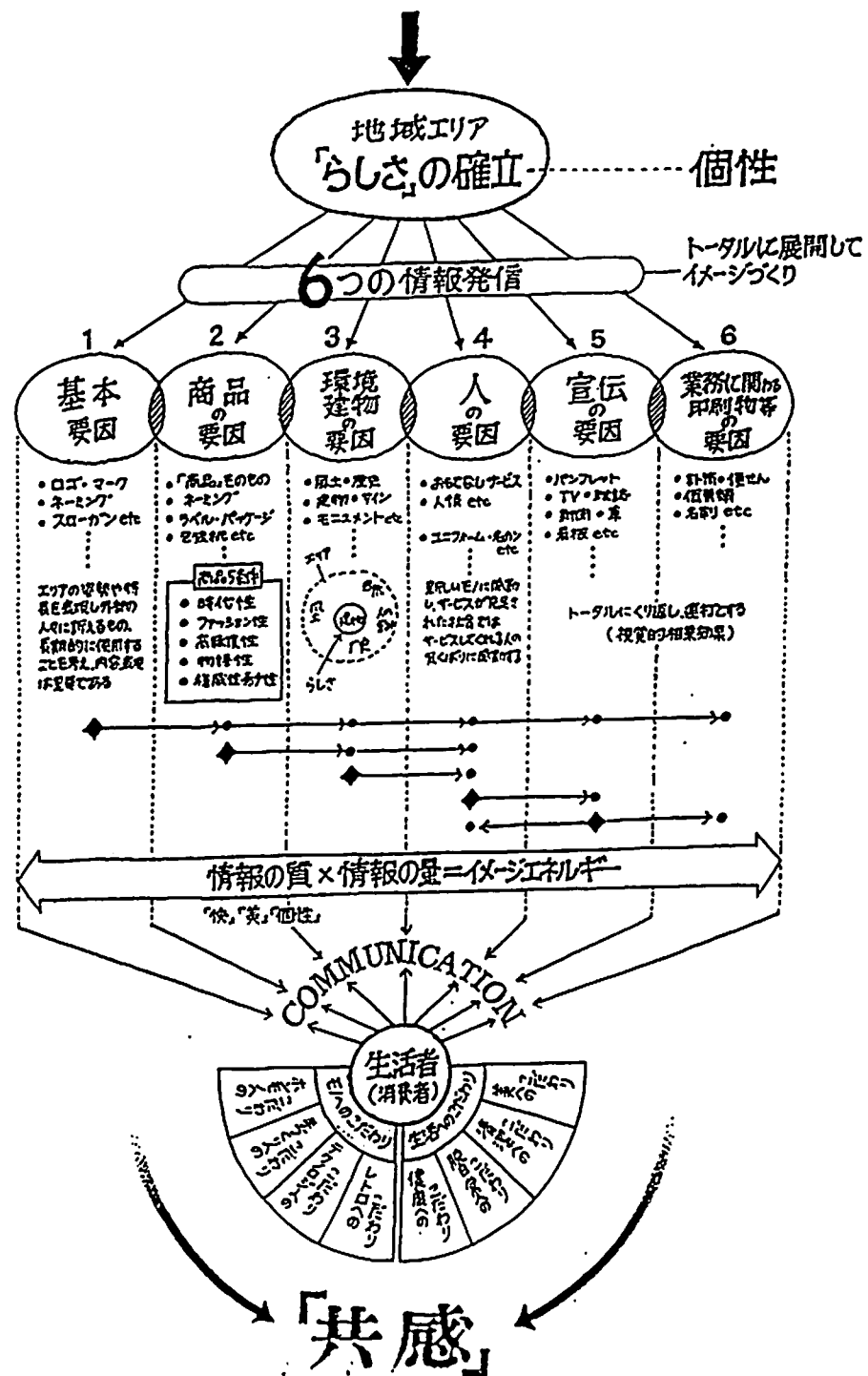
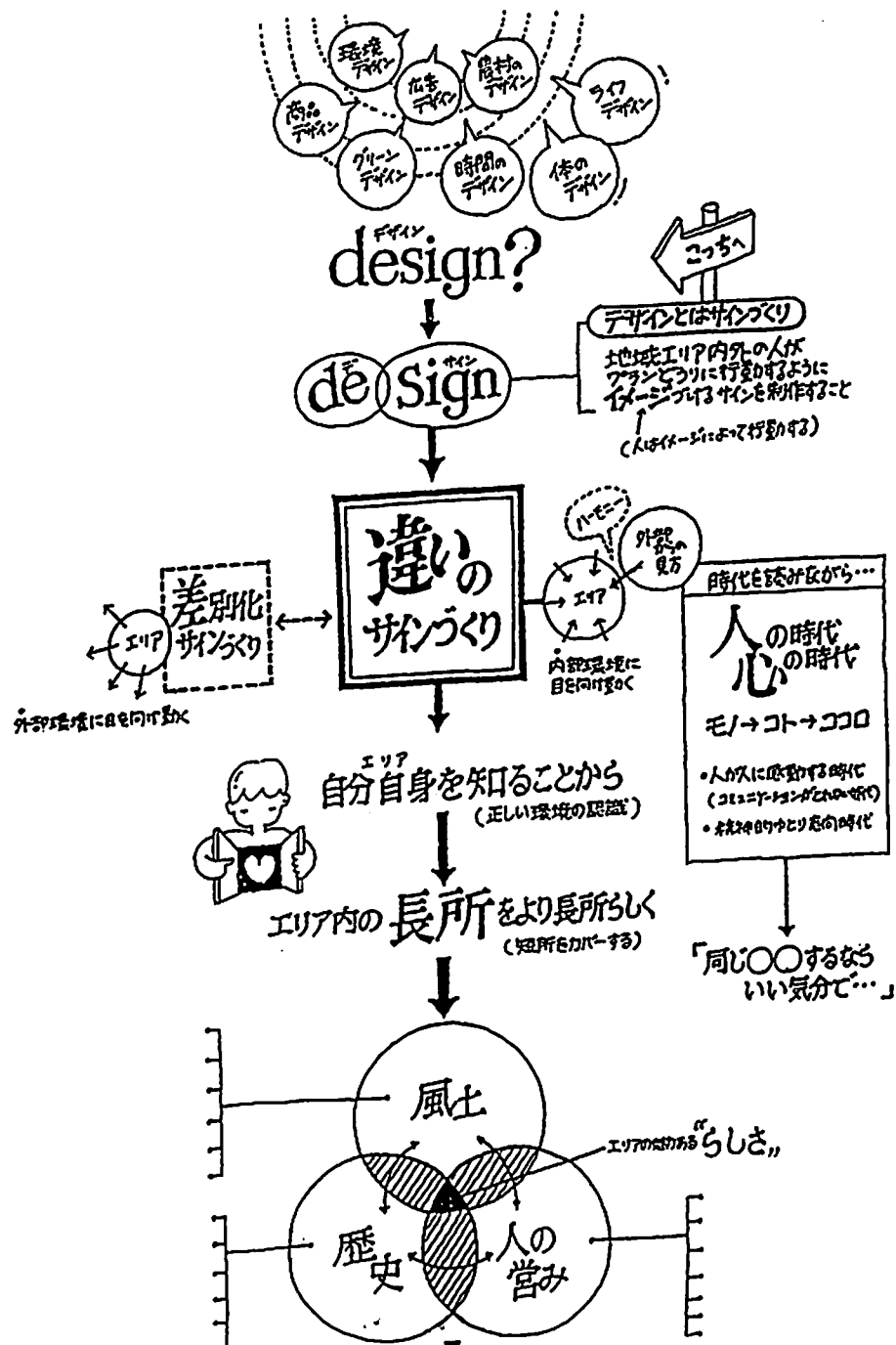
②住民が主体となった地域づくり組織

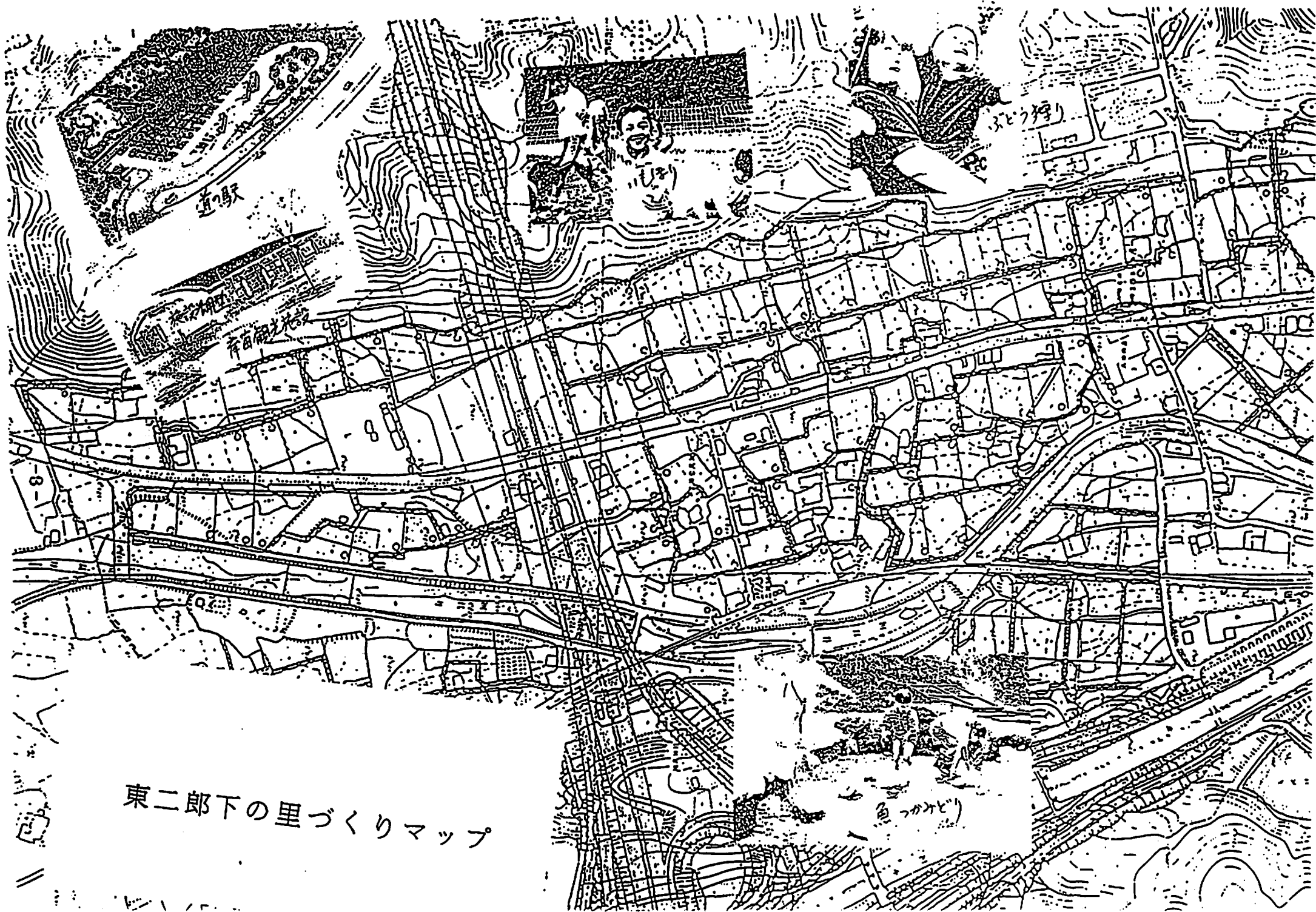
③管理運営は二郎公社

## 5 後継者育成

今の労働を半分にして、所得を2倍にする体系をみんなで作ることが後継者育成である

東二郎下のトータルデザインのあり方





東二郎下の里づくりマップ

配付	35戸	回収	26戸 (未回答3戸分除く)	回収率	74.3%
----	-----	----	----------------	-----	-------

I 農家、非農家について (全世帯用)

問1 世帯主又は、世帯で経済的に中心となる方から見た農家、非農家の区分

区分	専業農家	第1種兼農家	第2種兼農家	非農家	不明	計
回答数	11	1	7	6	1	26
率(%)	42.3	3.8	26.9	23.1	3.8	100

II あなたのまわりの生活環境について (全世帯用)

問2 日頃、危険だと思っていることや、特に不安を感じておられることは (複数回答)

区分	交通事故の危険が多い	通学路が危険である	防火対策が十分でない	ため池の護心設備がない	大雨時に浸水の心配がある	防犯灯(網灯)が少ない	けがれ・臭い・ごみが多い	橋が古くて危ない	その他	不明
回答数	20	3	11	0	6	9	0	0	3	3
率(%)	76.9	11.5	42.3	0	23.1	34.6	0	0	11.5	11.5

[その他意見の内容]

- ・ 里道を拡幅してほしい

問3 日頃、環境や衛生の面で特に不満を感じておられることは (複数回答)

区分	雑草によるごみ・臭いが多い	蚊・ハエ・ゴキブリ・ネズミが多い	自動車による騒音・振動が多い	日当たり風通しが悪い	水路等のごみや悪臭が多い	空き地の雑草や不法投棄のゴミが不衛生だ	その他	不明
回答数	0	9	14	2	5	16	1	4
率(%)	0	34.6	53.8	7.7	19.2	61.5	3.8	15.4

[その他意見の内容]

- ・ 空きカンのポイ捨てが多い

問4 日頃、特に便利が悪くて困っておられることは (複数回答)

区分	集落内の道路整備が悪い	食料・日用品の買い物の便が悪い	幼稚園が遠い	保育園が遠い	子供の遊び場や老人いこいの場がない	集会所が古くて使にくい	その他	不明
回答数	8	15	5	2	20	6	0	2
率(%)	30.8	57.7	19.2	7.7	76.9	23.1	0	7.7

問5 快適な生活を過ごすために地域で必要なことは (複数回答)

区分	集会所の増設や改修	子供の遊び場の整備	老人いこいの場の整備	集落内道路の整備	交通安全(信号・ガードレール)の整備	街灯、防犯灯の設置	公園、緑地の整備	集落内排水路の整備	通学路の整備	不明
回答数	21	8	20	8	6	9	8	6	0	2
率(%)	80.8	30.8	76.9	30.8	23.1	34.6	30.8	23.1	0	7.7



問6 祭りや行事等がよく守られていますか

区分	よく守られている	まあまあ守られている	守られていない	不明	計
回答数	20	4	0	2	26
率(%)	76.9	15.4	0	7.7	100

問7 冠婚葬祭、結婚式などについての考え方は

(1) 結婚式について

区分	現在のままでよい	簡素化する必要がある	わからない	不明	計
回答数	13	7	4	2	26
率(%)	50.0	26.9	15.4	7.7	100

(2) 葬式について

区分	現在のままでよい	簡素化する必要がある	わからない	不明	計
回答数	6	18	1	1	26
率(%)	23.1	69.2	3.8	3.8	100

(3) まつりや集落内の行事

区分	現在のままでよい	簡素化する必要がある	わからない	不明	計
回答数	16	8	1	1	26
率(%)	61.5	30.8	3.8	3.8	100

問8 冠婚葬祭について、お気付きの点

- ・ 東二郎下会館を利用している現状は良い。
- ・ 家督を継ぐ者が結婚した時、相手を集落の人に紹介する方法をより簡素化したい。
- ・ 葬儀に関する料理の内容を簡素化できないか。
- ・ 義理的な交際は少なくした方が良い。

問9 集落・町全体の中で、将来において保存したい神社仏閣、名所旧跡などの文化財や伝統芸能、風習など

- ・ 大歳神社・祭り・神楽(獅子舞)
- ・ 大日如来祭り、大日如来尊
- ・ 布袋寺、日本一大ほてい、布袋尊
- ・ 旧宮崎家屋敷跡(井戸)
- ・ 伊勢講
- ・ 農業用水路

[自由意見]

- ・ 自動車の通行量の増大とともに騒音振動が多くなり、「静かな里」とは言い難い。
- ・ ゴミの減量・再利用のPR。
- ・ 生ゴミは各自が処分(堆肥化等)し、ダイオキシンを出さず、子孫が安全に住める地球環境をつくるべきだ。

Ⅲ 農業について (農家用)

問10 現在の農地面積について

1 合計面積

1	2	3	4	5
0.3 畧未満	0.3~0.5 畧未満	0.5~1.0 畧未満	1.0~2.0 畧未満	2.0~3.0 畧未満
3戸	4戸	4戸	7戸	1戸

2 左の内借入農地面積

1	2	3
0.3 畧未満	0.3~0.5 畧未満	0.5~1.0 畧未満
4戸	3戸	0戸

問11 現在の農業経営規模について

1 米

0.3 畧未満	0.3~0.5 畧未満	0.5~1.0 畧未満	1.0~2.0 畧未満
5戸	3戸	8戸	2戸

2 いちご

0.3 畧未満	0.3~0.5 畧未満	0.5 畧
11戸	2戸	1戸

3 野菜

0.3 畧未満	0.3~0.5 畧未満
8戸	1戸

4 花

0.3 畧未満
1戸

問12 お宅の農業機械の所有状況について (回答農家数19戸)

区分	トラクター	耕運機	田植機	コンバイン	ハンダー	ハーベスター	刈摺機	乾燥機	農用自動車
個人有	19	15	20	17	13	5	16	16	16
共有	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問13 農作業の受委託について

- 1 受委託はしていない ⇒ 17戸  
 2 委託している ⇒ 1戸 ⇒ 作業名 = 田植・稲刈  
 3 受託している ⇒ 1戸 ⇒ 作業名 = 全部  
 受託面積 = 20アール

問14 農業従事者の状況

区分	男				女			
	農業のみに従事	主に農業に従事	主に兼業に従事	計	農業のみに従事	主に農業に従事	主に兼業に従事	計
20才~40才	1人	2人	0人	3人	0人	0人	0人	0人
41才~60才	4	1	3	8	3	5	1	9
61才以上	12	1	1	14	13	1	1	15
計	17	4	4	25	16	6	2	24

IV 生産基盤の整備等について (農家用)

問15 お宅の水田・畑についての問題点は何ですか (複数回答)

区分	何も問題はない	区画が狭く、不整形である	水はけが悪い(翻)	水もちが悪い	地力がおちる	生活雑排水、工業排水が流入する	農道が未整備で機械をいれにくい	山間地・建物の陰で日あたりが悪い	その他	不明
回答数	2	13	5	3	6	1	7	2	2	1
率(%)	7.7	50.0	19.2	11.5	23.1	3.8	26.9	7.7	7.7	3.8

[その他意見の内容]

- ・ 水の入らない農地がある

問16 お宅の所有農地の利用について

区分	農地を農地として将来も自分で利用する	農業後継者がいない又は農業に従事しないため一定期間貸付する	農地を売りたい	出来うれば農地転用し他の用途に利用したい	不明	計
回答数	8	0	1	8	4	20
率(%)	40.0	0	5.0	40.0	20.0	100

問17 問16で1, 2を選択された方にお聞きします。(1, 2回答者以外も記入あり)  
ほ場整備についての考え方

区分	なるべく早く実施したい	多数の意見に従う	良いとわかれば賛同する	現状で不便を感じていないので必要ない	お金がかかるのでしたくない	面積が減る(減歩)のほ場整備はしたくない	その他	計
回答数	2	5	6	1	3	1	2	12
率(%)	16.7	41.7	50.0	8.3	25.0	8.3	16.7	100

[その他意見の内容]

- ・ 問題点を研究する必要がある。
- ・ 自己所有地はなく全て小作地である。

問18 農機具投資への考え方

区分	改善する必要がある 問19へ	やむを得ない	個人の意志でよい	わからない	その他	計
回答数	6	8	6	0	0	20
率(%)	30.0	40.0	30.0	0	0	100

問19 問18の改善の方法についての考え方

区分	集落内で共同利用する	隣近所で共同利用する	親せき等で共同利用する	作業を委託する	その他	計
回答数	3	0	0	3	0	6
率(%)	50.0	0	0	50.0	0	100

問20 川掛かりの田をお持ちの方  
1 農業用水の水量について

区分	現在、将来とも農業用水の不足はない	今のところ不足はないが、将来下水道の整備が済めば不足の心配がある	現在すでに不足している	不明	計
回答数	7	7	4	2	20
率(%)	35.0	35.0	20.0	10.0	100

2 農業用水の水質について

区分	現在、農業用水の汚濁はなく将来も汚濁の心配はない	今のところ農業用水の汚濁はないが将来は心配	現在すでに汚濁している	不明	計
回答数	0	9	8	3	20
率(%)	0	45.0	40.0	15.0	100

問21 ため池掛かりの田をお持ちの方  
1 農業用水の水量について

区 分	現在、将来とも農業用水の不足はない	今のところ不足はないが、将来不足の心配がある	現在すでに不足している	不 明	計
回答数	1	4	2	13	20
率(%)	5.0	20.0	10.0	65.0	100

2 農業用水の水質について

区 分	現在、農業用水の汚濁はなく将来も汚濁の心配はない	今のところ農業用水の汚濁はないが将来は心配	現在すでに汚濁している	不 明	計
回答数	1	4	1	14	20
率(%)	5.0	20.0	5.0	70.0	100